

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)柏市柏四丁目10計画

 ■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE 柏2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				全体	
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質						3.1	
Q1 室内環境			0.40		-	3.4	
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0	
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50		
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	2.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	専有部:Lr-50	-	-	4.0	0.20		
1.3 吸音		-	-	-	-		
2 温熱環境		2.6	0.35	3.3	1.00	3.2	
2.1 室温制御		2.2	0.50	3.3	0.50		
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63		
2 外皮性能	住宅性能評価温熱等級4相当	1.0	0.38	4.0	0.38		
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-		
2.2 湿度制御	熱橋部分の断熱補強により結露対策がされている	3.0	0.20	4.0	0.20		
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境		3.0	0.25	3.6	1.00	3.5	
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.30		
1 昼光率	共用部:7.314%専有部:2.588%	5.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30		
1 昼光制御	カーテン+庇の2種類で昼光制御	2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境		3.6	0.25	3.7	1.00	3.7	
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質	壁・床・天井・天井裏の面積の合計の70%以上にF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気		3.0	0.40	3.3	0.38		
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能	居室面積の1/8以上の開閉可能な窓の確保	-	-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理		-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-		
2 喫煙の制御		-	-	-	-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.0	
1 機能性		3.6	0.40	2.6	1.00	2.7	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性		-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-		
3 内装計画	共用部:評価する項目3つに該当	4.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計	維持管理に配慮した設計において取り組みが標準以上	4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保	維持管理用機能の確保において取り組みが標準以上	4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性		3.4	0.30	-	-	3.4	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.4	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能	免振材の採用	5.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能評価劣化の軽減に関する等級3相当	5.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:フローリング20年・壁:ビニールクロス20年・天井:ビニールクロス	4.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水・汚水・雑排水にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		3.2	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備	節水型器具の採用、可能な限り配管系統区別、受水槽に蛇口の設置	4.0	0.20	-	-		
3 電気設備		3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	階高: 2.965m	-	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性、アメニティへの配慮に関する取り組み(比較的多く)	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		住宅性能評価温熱等級4相当	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.92	3.8	0.50	-	-	3.8
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	設備ごとの取扱説明書が居住者へ手渡しに加え省エネに関する住まい方について一般的な説明をしている	4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		高炉セメント/コンクリート	5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		グリーン調達品: パーティクルボード(下地材)	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		躯体と仕上材の分別容易、内装材と設備の錯綜無し	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01未満かつGWPが低い発泡剤(GWP100年値が50未満)の断熱材を採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率 81%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	評価表の取り組みポイント3P	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストの過半を満たし、広告物照	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	